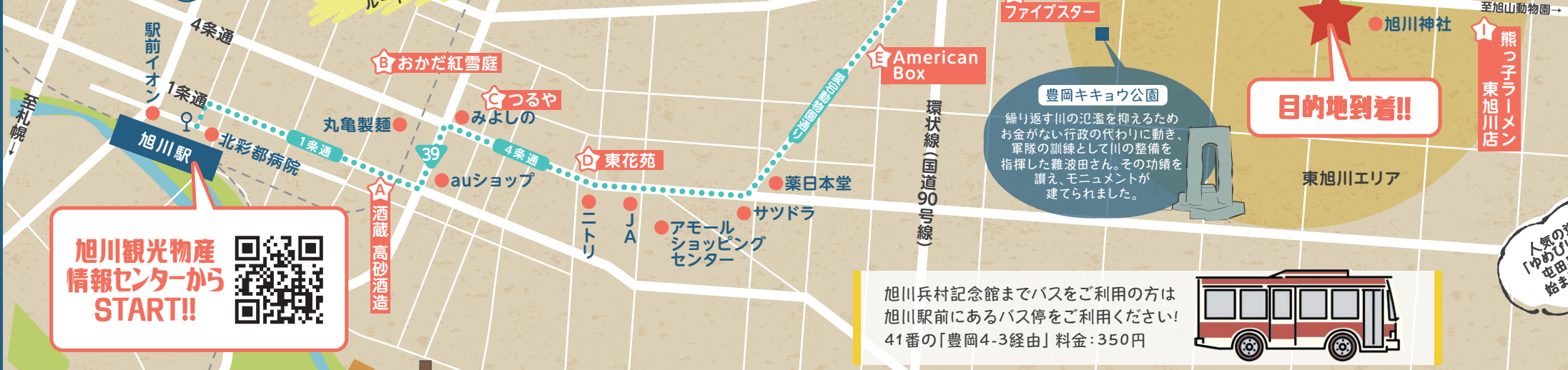


屯田兵入植ルート

旭川駅からレンタサイクルで行く
旭川から、旭川の始まりの地のひび
《東旭川》の“兵村記念館”まで自転車で巡ろう!!
〔兵村記念館まで自転車で約49分(8.9km)〕
屯田兵が北海道開拓当時歩いたと言われるルートを自転車で巡る。



旭川兵村記念館

館内には、北海道開拓が始まった当時使われていた屯田兵屋が復元され、実際に使われていた生活用品・農機具・屯田兵の血と汗の記録が綴られている「旭川兵村中隊記録」「屯田物語原画綴」など数々の記録と遺品が展示されており、開拓当時の苦勞をしのぶことができます。

【住所】旭川市東旭川南1条6丁目3-26
【入館料】大人500円 【TEL】0166-36-2323
【閉館時間】9:30～16:30 【休館日】火曜日

屯田兵の苦勞

北海道開拓当時、この上川の土地には和人で農業をしている者は一人もおらず、アイヌの人々は主に狩猟を生業としていました。平地では200年以上も経っている大木が多く、身の丈もある熊笹も生い茂るという、未開の土地を開墾するところから始まりました。また、当時は冷害が多く、葉物野菜を収穫できない不安があったので、畑作から稲作に移行。移行するには畑そのものを作り替える必要があり、決して簡単な作業ではないため、多くの時間と労力を費やしました。開拓の翌年には、寒さに強い赤毛種という品種から米の収穫に初めて成功しました！まさに旭川産米の第一歩です。

上川百万石の礎 “タコ足”を大発明

10日以上かかっていた1.5ヘクタールの初まきの作業が女性でも3日あれば楽に初まきが可能に！タコ足の発明は、北海道の農業発展に大きく貢献しました。発明したのは末武安次郎氏。

米どころ 旭川

寒冷地の気候は稲作には向いていないとの考えにより、北海道での米作りは国から禁止されていました。しかし入植した人たちの「どうしても米を食べたい!!」という熱意のおかげで稲作が始まったのです。

旭川の情報

- 〔人口〕327,960人 (R4年1月現在)
- 〔米収穫量〕38,100トン (R2年産)
- 〔水稲作付面積〕6,130ha (R2年時点)

38,100トンの収穫量はなんと道内1位！みなさんが1年間に食べるお米の量を60kgだとすると63.5万人分のお米が作られたこととなります！

屯田兵とは？

明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士とその部隊のこと。明治8年に札幌郊外の琴似への入植から始まり、明治24年に永山へ入植、明治25年に東旭川、明治26年に当麻、その後全道各地へ開拓を進めていきました。極寒の地で血と汗と苦勞そして開拓に対する熱い魂を後世に伝えようと建てられたのが『旭川兵村記念館』です。

屯田兵は士族救済の為であった？

屯田兵制度の設置は、北海道の防備とその開拓が大きな狙いでしたが、国内事情として士族の救済策でもあったと言われています。この時期は明治維新後、多くの士族らが困窮しており大きな社会不安となっていた時代。そこで、兵の誇りを保たせつつ土地を給与して自活の道を開かせようとしたのです。なので屯田兵の募集は当初士族のみ。その後平民にも募集は広がりました。ちなみに、1つの家族に与えられた広大な土地はなんと4500坪！年齢は18歳～35歳まででした。

冬の防寒法

日本の様々な地域から入植しており、冬の防寒法を知らない土地の人も多くいました。その為、青森や秋田などの寒冷地から入植した兵に防寒法を学んだとのこと。床下に干し草を入れたり、冬前には着物の糸をほどき綿を詰めたり(今でいう丹前)。当時の写真をよく見ると、冬の屯田兵の着物は裾などに綿を入れた厚みを確認できます。

東旭川が選ばれた理由

大雪山の恩恵で、自然に水が入ってはける緩やかな傾斜が稲作に好都合だったとか。さらに自然の用水ともいえる川が多数流れていた東旭川。そのため明治時代に屯田兵が送り込まれたと言われています。

東旭川に色々な地域から入植

鹿児島県 1戸	埼玉県 1戸
愛媛県 93戸	青森県 16戸
滋賀県 16戸	岐阜県 11戸
秋田県 93戸	京都府 45戸
鹿児島県 27戸	富山県 28戸
香川県 89戸	合計 400戸

男性 1,361人 女性 973人
合計 2,334人(家族含む)

開拓には女性も大いに貢献

女性の支えも開拓にとって重要でした。冬は洗濯をするにも水は凍るし、昼は男たちと一緒に畑や水田で働き、夜はランプの灯火の下で裁縫をしなければなりません。このような女性の苦勞もあってこそ、屯田開拓はできたとも言えます。

小樽まで船→滝川→旭川へ

屯田兵たちは本州から北海道へくるルートとして小樽まで「高砂丸」と「山城丸」という船で来ました。その後、無蓋列車で6時間かけて滝川まで来て駅通で1泊。歩いて深川の音江の駅通で2泊目。旭川大橋の近くにあった忠別太駅通で3泊目。4日目に兵村に入りました。駅通(えきてい)・・・郵便と交通運輸をあわせた呼称

webサイトはこちらから!

- A 酒蔵 高砂酒造**
100年以上に渡り旭川を代表する日本酒を作り続けている老舗。旭川らしい辛口の名酒「国土無双」は1975年に発売され現在では世界中のファンに愛されています。
北海道旭川市宮下通17丁目右1号
8:30～17:30
年末年始
0166-23-2251
- B 蕎麦と料理 おおかだ紅雪庭**
旧岡田邸保存活動の結果、生まれた蕎麦と和食のお店です。お蕎麦、一品料理、ドリンクなどはご予約なしでお召し上がりいただけます。※夜は予約制
北海道旭川市5条通16丁目1099
【昼】11:30～LO.14:30
【夜】17:30～21:30(LO.21:00)
水曜
0166-22-5570
- C ラーメン専門つるや**
昭和47年創業。濃厚ながら口当たりがやさしいスープに低加水の縮れ麺、分厚くカットした食べ応えのあるチャーシューがのっています。
北海道旭川市4条通19丁目左10号
11:00～19:30
月曜
0166-31-5814
- D 旅館 東花苑**
心を込めたおもてなしとくつろぎの空間。館内の岩風呂大浴場をはじめ、四季折々美しさを眺められる日本庭園もございます。
北海道旭川市5条通25丁目
12:00～22:00(日帰り入浴550円)
月曜
0166-31-2234
- E American Box**
定番は2週間ごとに替わる「アメボのランチプレート(ドリンク付)」。中標津の山本牧場で365日放牧飼育された健康な牛の「養老牛放牧牛乳」をつかったソフトクリームやプリンも人気。
北海道旭川市豊岡11条5丁目5-4
11:00～17:00
火曜
0166-56-8789
- F バイキングレストラン ファイブスター**
ワンランク上の本格的な食べ放題！和食、洋食、中華、韓国料理、寿司、焼肉、旭川ラーメン、スイーツなど、目移りする料理が満載です。
北海道旭川市豊岡14条8丁目3-6
【平日】11:00～14:30/17:00～21:30
【土日】11:00～21:30
無休
0166-37-6611
- G 鳥料理 小野木**
1922年に創業の老舗鳥料理専門店。旭川名物の新子焼きを始め、鶏鍋など各種鳥肉料理を提供中。名物は千鳥揚げ定食です。
北海道旭川市東旭川北1条6丁目
【平日】11:00～15:00
【土日】11:00～20:30
火曜日、第3月曜日
0166-36-1146
- H エスペリオ旭川本店**
北海道でのびのび育った牛と、厳選された食材を使いこだわりの製法で作る当店オリジナルのハンバーグは、定番人気のメニューです。
北海道旭川市東旭川町上兵村240-8
【平日】11:00～14:30
【土日】11:00～15:00
火曜 7/1～9/30は不定休
0166-36-3563
- I 熊っ子ラーメン東旭川店**
旭川ラーメンを代表するチェーン店。昔から旭川市民に愛されている味です。「正油ラーメン」が700円と、価格も良心的。
北海道旭川市東旭川町452-2
11:00～20:00
無休
0166-36-3124